

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 新開 広恵

- I 開催年月日 令和 7 年 4 月 17 日（木）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 30 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎新開 広恵 ○篠井 哲治 石須 大雄
藪中 一夫 本田 利麻 曾田 康司
狩野 安郎
（出町 議委員は体調不良のため欠席）
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕※藪中 一夫 議長は委員として出席
〔副議長〕高岡 宏和
〔説明員〕別紙名簿のとおり
〔事務局職員〕松本 武司 島田 輝 越田 裕喜
〔傍聴者〕1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 中心市街地における電動レンタルサイクルの導入について
- (2) 子どもライター記事の募集について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【中心市街地における電動レンタルサイクルの導入について】

- レンタルサイクルと御旅屋駐車場の 2 時間無料とを一体化するような形で市内の方々に利用していただきたいが、どのようにして結び付けていくつもりか。
- △ 御旅屋駐車場の 2 時間無料との一体的な利用の促進については、滞在時間を延伸するとともに、回遊性を高めることで消費の拡大にもつなげていくことだと考えている。今回導入する自転車については、スポーツ型で比較的若い世代が、軽快に坂道なども含

めて市内を回れるという特性があることから、中心市街地のにぎわいづくりに資することを期待している。

○ レンタルサイクルについて多くのアプリがある中で、このアプリを採用した理由は何か。また、どのようなターゲット像をもっているか。

△ アプリについては、もともと電動車両とポートを購入して事業を行いたいという思いがあるなか、他自治体の事例を調査する中で、全国でシェアサイクリング事業を展開しているオープンストリート社と面会の機会があり、バイク型の車両であれば、サービスを提供できるという話があった。なお、オープンストリート社が運営しているアプリは、会員登録者数が国内ナンバーワンで 400 万人を越えており、首都圏を中心に認知度も高い。首都圏から来た方は、既に登録しているアプリで借りることができるということで、比較的利用しやすいのではないかと考えている。

○ 若い世代が利用という話であるが、年齢制限はあるのか。ないのであれば、50 代 60 代の方が乗りたい場合はどうするのか。また、レンタルにかかる金額は全国一律か。

△ 年齢については自転車のタイプとして、比較的若い世代の利用に向いているということで、お年を召した方が使えないということでは決してなく、幅広い世代に使っていただきたいと思っている。スポーツとしての使用にも耐えうる車両であるので、そのような使い方もできるということである。

△ 金額についてはオープンストリート社で決められた金額となっている。

○ 車両は何台配置されるのか。ラックの数は 18 台とのことだが、ラックの数と車両の数は一緒なのか。

△ ラックの数は 18 であるが、乗り捨てを想定しているので、ラック分までの自転車の配置は今のところ予定していない。ただし、オープンストリート社から、現時点で提供いただける自転車の数は 25 台となっており、予備の自転車として置いたり、増設などの要望があれば対応できるようにしていきたい。

○ ラックにあるものを取って、空いているラックに返す形だと思うが、ラックが空いておらず返すところがない場合はどうするのか。

△ ラックが埋まっていた場合は、別の空いているラックに返却していただく。アプリでラックの位置を検索できると聞いているので、最寄りのラックの場所へ返却していただきたい。

○ 長距離移動する自転車ということは、個人使用よりも、仲間で使用したいというニーズが多いかと思う。例えば、県外から 3 人で来て 3 人で自転車を借りたいという場合など、予約制度はあるのか。

△ アプリで検索から予約ができるものになっている。

○ オープンストリート社の県内他市での実績は。

△ 今回の導入は北陸初である。

2 その他

- 。本委員会の行政視察について
令和7年5月7日（水）から9日（金）に実施することが報告された。
- 。次回の本委員会の開催について
令和7年5月26日（月）午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【金屋町に設置されていた銅像4体の盗難被害について】

- 本市有数の観光スポットである金屋町に設置されていた銅像4体の盗難被害について、本市の受け止めと今後の対応策は。
- △ 今回被害を受けた銅像は、周囲の千本格子の町並み・家並みと相まって、鋳物のまち高岡を象徴する観光の景観を構成していた。大切な景観が損なわれ、持ち主や地域の方々の愛着と誇りを傷つけた、心無い行為に大きな憤りを感じているところである。すでに被害届が提出され、警察が窃盗事件として調べているとのことであり、1日も早く、4体の銅像が持ち主のもとに帰り、元の景観に戻ることを願っている。本市としては、今後このような事件が繰り返されないことがないよう、警察や関係部局などとの情報共有、意見交換を行うとともに、地域の皆様から相談を受けた際には、しっかりと話を伺い、防犯対策を講じるための制度の紹介や、関係機関との連携などの対応をしたいと考えている。
- 金屋町は本市有数の観光スポットであり、観光客の方も多く来ていただいている状況の中で、大事な銅像が盗まれている。盗まれた銅像の中には、ラジオ体操をする子どもの銅像もあり、その銅像があった店舗兼住宅には「一緒にラジオ体操してくれた皆さんありがとうございました」という張り紙がしてある。そのような気持ちも鑑みて、今後相談していくという話ではなく、市の方でも、防犯カメラを増設するなどの具体的な施策を検討していただきたい。（要望）

【液状化被害宅地復旧支援事業について】

- 液状化被害宅地復旧支援事業について現在までの支援状況は。
- △ 液状化被害宅地復旧支援事業については、宅地の復旧や地盤改良、住宅基礎の傾斜修復等に対し支援を行っており、令和6年7月の支援開始から本日までの申請件数は53件となっている。
- 液状化被害宅地復旧支援事業についての申請期間の延長を検討しては。昨日、横田地域において液状化対策の説明会があり、その中で、自分の家をこの制度を使って直すか迷っているが、面的な液状化対策の進捗状況との絡みがあり、なかなか判断できないという意見があった。その点も鑑みて、申請期間を面的な液状化対策と合わせて検討して

欲しい。

△ 申請期間については、単年度内での期限となっているところである。一方で、公費解体が終わって建て替える際に補助金を申請したい、面的な液状化対策が行われることが決まってから考えたい、といった声もある。このことから、申請期間の延長については、県とも相談したいと考えている。

○ 面的な液状化対策について、昨日の説明会の中では、実際に実施するとなった場合は、令和9年度ごろではないかというタイムスケジュールだった。2年後ということになるので、被害に遭われた方が検討できるところまでぜひ延ばしていただきたい。延長できず制度が使えないということになると本末転倒の話になってしまう。3地区の面的な液状化対策の進捗状況については、しっかり把握した上で、情報共有していただきたい。(要望)

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

。祭り・イベントの開催について(国宝瑞龍寺ライトアップ、高岡御車山祭、第50回たかまちまつり高岡獅子舞大競演会、伏木曳山祭「けんか山」)

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（27名）

産業振興部長	山 本 真 弘	都市創造部長 技術政策監	梶 本 敏 規
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	伴 孝 宏
産業振興部次長	表 野 勝 之	都市創造部次長 震災復旧推進課長	山 森 久 史
産業振興部参事（兼務）	伴 孝 宏	都市計画課長	橘 篤 志
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	田 口 昌 子
商業雇用課長	澤 田 剛 章	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	野 村 岳 人	土木維持課長	中 澤 俊 一
農業水産課長	割 田 一 郎	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	上 田 浩 樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	須 田 稔 彦	上下水道局次長	寺 井 義 則
		総務課長	小 久 保 光 章
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英